

# ヘッジコート 標準施工要領書

1	下地処理	下地の浮き膜、錆、油脂分や残留物を電気サンダーやワイヤーブラシ等で取り除く。旧塗膜の活膜は残せませんが、出来るだけ錆を除去し清潔で乾燥した状態にして下さい。
2	攪拌	電動攪拌機を使用し、低スピードで2～3分間全体が固めのホイップクリーム状になるまで攪拌して下さい。(高速ではセラミック粒子が壊れます。)
3	プライマー	必要に応じてプライマーを塗布して下さい。下地が良好な状態であれば「ヘッジコート」をプライマーとして薄く(0.5～1mmほど)塗装することもできます。
4	塗装	<p>刷毛、ローラー、吹付塗装のいずれも可能です。</p> <p><u>稼働中の高温下地の場合</u>          下地の常用温度70～150℃の高温時は複層に塗り重ねて下さい。          1. 下塗りとして薄く(0.5～1mm厚程)塗装する。(素地との馴染み性を得るため)          2. 2層目は約5～30分間後、十分水分が蒸発した後に1～1.5mm厚で塗装する。          3. 必要な膜厚になるまで2を繰り返す。          高温の下地に塗装する時は、塗膜中の水分が蒸発しやすいように薄膜で塗装して下さい。厚く塗装すると膨れを起こし割れることがあります。塗膜内部に水分を残すと割れや膨れが生じることがあります。膜厚が付いて表面温度が下がってきたら厚膜で塗装を進めても問題ありません。</p> <p><u>常温/低温下地の場合</u>          常温下地に塗装する場合は、塗膜厚や室温によって塗膜の乾燥度合が違いますので、乾燥時間を十分確保して下さい。          1. プライマーとして薄く(0.5～1mm厚程)塗装する。          2. 2層目以降は下の層を充分乾燥させてから塗装(0.5～1mm厚)して下さい。          3. 1日、1～2工程とし、温熱風を当て乾燥を早めることをお勧めします。</p>
5	トップコート	<p>屋外の場合はトップコートが必要です。          水性トップコートを塗装して下さい。(エナモトップWハルスを推奨します。)          溶剤系のトップコートを塗装する場合は、必ず「クールサーム」を塗装した上に塗装して下さい。</p> <p>トップコートを塗装する場合は、以下の乾燥時間が必要です。          1. 高温下地の場合・・・ヘッジコート塗装から24時間以上          2. 常温/低温下地の場合・・・ヘッジコート塗装から2週間</p> <p>※膜厚、気温や湿度等によって変わりますが、ヘッジコートは完全乾燥までに時間がかかります。表面が割れることがありますので、下地塗膜が完全に硬化しているのを十分に確認してください。</p>
6	適用温度	<p>塗装時の気温： 10℃～38℃          下地適応温度： 65℃～150℃          保管温度： 5℃～50℃</p> <p>ヘッジコートに使用されている樹脂は、150℃から炭化が始まります。発煙しますが、煙は無毒で炭化が終われば止まります。又炭化により塗膜が茶色く変色することがありますが、炭化した塗膜も完全な断熱層として機能します。</p>
7	注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に下地温度を測定し、温度分布を把握することが必要です。</li> <li>・使用した用具は、水で洗浄して下さい。</li> </ul>